



## 令和2年年頭に当たって

一般社団法人 群馬県経営者協会 会長 八木 議 廣

新年、あけましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかな日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末には、イギリス国政選挙で保守党が大勝し、いよいよ欧州連合離脱に向けてのスタートが切られました。また、米中間の貿易交渉においても、第一段階の合意に達したと伝えられました。これらの動きが、今後どのように推移していくかは必ずしも明確ではありませんが、いずれにしても、世界経済に大きな影響を与えることは間違いありません。我々の経営にとって、好ましい影響はできるだけ多く、好ましくない影響はできるだけ少なくあって欲しいと願うものであります。

また、ここ数年、経営上のトピックスとなっている「働き方改革」ですが、今後、改正パートタイム・有期雇用労働法の施行に伴い、いわゆる「同一労働同一賃金」という大きな課題への対応が必要となります。

私共群馬県経営者協会の上部団体である経団連は、毎年「経営労働政策特別委員会報告」を発行し、企業経営の方向性を示しております。2020年度版はこの1月下旬に発行される予定ですが、その中で

経団連は、「今年の春の労使交渉においては、新卒一括採用や終身雇用、年功型賃金などの雇用慣行の見直しを呼び掛ける」と報道されております。「働き方改革」も、単に時間外労働の上限厳守や年次有給休暇付与日数増を行うことでよしという話ではありません。慢性的な人手不足という課題の解決をも視野に入れた、根本的な業務改革に挑戦し、生産性を向上させる姿勢こそが、まず求められるものと思います。

そのためにも、会社の将来を見据えた議論を、引き続き労使でしっかりと行いたいものです。

本年も会員皆様のご理解とご協力を頂くとともに、他の経済団体や連合群馬の皆様と連携を図りながら、経営者協会及び会員各社の益々の発展につながる活動を行って参りたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



# デジタル技術を活かし、 人間的で幸福な暮らしの実現 と社会課題の解決を

一般社団法人 日本経済団体連合会 会長 中西 宏 明

昨年は多くの行事・イベントが続く年だった。令和の時代が始まる天皇陛下のご即位があり、大成功を取めたラグビーワールドカップに先立ち、日本で初めてのG 20が大阪で開催され、経団連は先行して経団連会館でB 20を主催した。多くの国々で政治と経済の不安定な状況が発生しているなかで日本経済は安定的な成長を続けていることから、日本は世界でもっとリーダーシップを発揮すべきとの声を聞く。

2020年を迎えるにあたり、わが国成長戦略の要であるSociety 5.0をしっかりと社会実装していく決意を新たにしている。デジタル技術の強みを活かして、より人間的で幸福な暮らしを実現し、社会課題の解決を図っていくことでSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することができる。

その実現にはこれまでの個別課題の解決だけでは不十分であることから、分野横断的な活動を展開するデジタルトランスフォーメーション会議の議論を進め、新たなルールづくり、制度改革の方向性を積極的に打ち出していく。産業構造の変革を進め、新たな挑戦を促す競争環境の整備にも果敢に取り組んでいく。

少子高齢化に伴う人口減少の課題を真正面からとらえて、国民の将来不安を解消し、安心して明るい未

来の構築に向けた成長戦略・財政健全化・全世代型社会保障改革を一体的に図る「経済構造改革」の実現を目指す。

昨今の台風被害、特に集中豪雨等の異常気象から地球温暖化が一層進みつつあると認識せざるを得ない。経団連は昨年4月に「日本を支える電力システムを再構築する」を提言した。そこで指摘した諸課題と施策の実現に向けて、日本の化石燃料依存からの脱却を進め、地球規模の課題を日本がイノベーションで先導すべく、経済界が総力を挙げて取り組んでいく。

激動の国際情勢はその変化の速度を増しており、先を見通すことは容易ではない。そうしたなか、わが国の政治と経済の安定を強みに、自由で開かれた国際経済秩序の維持・強化に向けた民間外交を展開し、グローバルな経済社会の安定と成長に貢献していきたい。

さらに今年は夏に東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2025年には大阪・関西万博があり、多くの国々から多数のお客様が来日される。その成功に向けて皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申しあげる。



## 新年のごあいさつ

群馬県知事 山本 一 太

明けましておめでとうございます。  
群馬県経営者協会会員の皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと心から  
お喜び申し上げます。

昨年知事に就任して以来、文字どおり「全力疾走」  
を続けてきました。現場に足を運び、数多くの人と  
意見を交わし、あらゆる課題についてスピード感を  
持って取り組んできました。毎日が決断の連続で、  
群馬県のために働けることに大きな充実感とやりが  
いを感じるとともに、知事としての責任の重さを痛  
感しており、身が引き締まる思いです。

新しい年を迎え、皆さまからいただいた期待に応  
えるため、常に先頭に立ち、全身全霊で「新・群馬」  
を創造していく決意を新たにしましたところ です。

今年は、本県の20年後を見据えた長期のビジョ  
ンと、今後重点的に取り組む具体的な政策を体系化  
した基本計画からなる「総合計画」を策定します。  
今後の県政の羅針盤となる計画です。多くの皆さん  
のご意見をしっかりと伺いながら、計画の策定を進め  
ていきたいと考えています。

群馬県は、豊かな観光資源やバランスの良い住環  
境など多くの魅力にあふれています。しかしながら、  
その魅力やポテンシャルが正しく評価されていない  
と強く感じています。こうした現状を打破するため  
には発信力の強化が必要です。4月から県庁32階  
の展望ホールに「動画放送スタジオ」を開設する予

定です。さまざまな工夫を凝らし、国内外への発信  
拠点として大いに活用してまいります。

また3月には、県立世界遺産センター『「世界を  
変える生糸（いと）の力」研究所』が富岡市に、4  
月には、群馬コンベンションセンター「Gメッセ群  
馬」が高崎駅東口近くにオープンします。4月から  
6月にかけて、大型観光キャンペーンである「群馬  
デスティネーションキャンペーン」も開催されます。

これらの政策や事業を含め、昨年10月に発表し  
た「全力疾走366プラン」に沿って、さまざまなプ  
ロジェクトを進めてきました。今後、具体的な施策  
展開や事業化に向けての取り組みを、さらに加速し  
てまいります。

皆さまには、引き続き県政へのご協力を賜りま  
すようお願い申し上げますとともに、新しい年が、皆  
さまにとって幸多き輝かしい年となりますよう、心  
からお祈り申し上げます。

令和2年1月1日



## 新年のご挨拶

連合群馬 会長 佐藤 英夫

### 新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

また、日頃より連合群馬の様々な活動に対して、ご理解ならびにご支援をいただいておりますことに、連合群馬を代表して御礼申し上げます。

連合群馬は昨年12月23日、結成30年を迎えました。これまで諸先輩が積み上げられた運動を大切に、取り組みを進めてまいります。

昨年も、自然災害が猛威を振るい、特に10月に上陸した台風19号は、土砂崩れや河川の氾濫など、普段あまり災害が発生しないと言われてきた本県にも大きな被害をもたらしました。連合群馬としてはのべ4日間、嬭恋村へ災害ボランティアを派遣し、復旧への支援活動を行ったところです。昨年はちょうど災害対応マニュアルをリニューアルしたこともあり、今後も構成組織と一体となった支援方を強化し、地域住民の皆さんの安心を確保する一翼を担っていきたいと考えています。

さて、連合は昨年、団塊ジュニア世代が前期高齢者となる2035年を見据え、新しいビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」を策定しました。今後の人口減少・超少子高齢化による人口構造の変化の中でも、いきいきとした生涯を送ることができる社会、また急速に進む技術革新への対応や、グローバル化の進展の中でSDGsに倣った世界全体の包摂的成長、平和で公正な社会などの課題に対して、互いに認め支え合いなが

ら、誰一人取り残されることのない社会へと「私たちが未来を変える」決意で運動の礎を創ろうとするものです。我々、連合群馬は、このビジョンに沿って地方組織として、「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」をめざして活動の具体化に取り組んでいきます。一方で、働き方改革では、本年4月には改正労働基準法の時間外労働の上限規制が、中小企業にも適用されることとなります。あらためて構成する労働組合へ、36協定の点検・見直し、労働時間の客観的な把握と適正な管理、年次有給休暇取得の推進など、法を踏まえた取り組みについて展開をしていきます。

また、皆さん、経営者協会との連携においては、「労使合同研究委員会」による行政への提言行動や、「新春労使共同セミナー」において、雇用や職場環境改善などの課題解決をテーマとした講演を開催するなど、県内の働く環境について、課題を共有してきました。今後も互いに知恵を出し合いながら、成果に結びつく取り組みを継続していきたいと考えています。経営者の皆様には、難しい舵取りを迫られる社会情勢ですが、将来を見据えた力強いリーダーシップの発揮とともに、健全な労使関係構築に向けて、引き続きの連携をお願いします。

結びに、貴協会の皆様のご多幸とご健勝、そして本年が実り多き輝かしい年となりますよう、心からご祈念を申し上げ、新年の挨拶といたします。



## 年頭のごあいさつ

群馬労働局長 田 窪 丈 明

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、労働行政の推進にあたりまして格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆様ご承知の方も多いかとは思いますが今年の干支は「庚子（かのえ・ね）」であります。いろいろな解説がありますが、庚子は「あらため（初々しい活力で）増える」ことを意味し、「これまでのことを振り返りつつ、継続すべきことと刷新すべきことの見直しを行い（発展に向けた今後の道筋を計画し）、それに取り組むことで良い年となる」そうです。

昨年は、ラグビーワールドカップで明るく、また、楽しく盛り上がることができましたが、自然災害も多発する年となってしまう、本年は、ぜひ東京オリンピック・パラリンピックを中心に良い話題であふれるものとなればと思っています。

労働面では、今年も、「働き方改革」が重要とな

りますが、その本質は、働き手（労働力人口）が減少する時代において、労働生産性の向上等を図りながら、安全・安心で働きやすい、また、働く人の持つ能力を最大限発揮できるような魅力ある職場づくりをいかに進め、事業の維持・発展に必要な量・質両面での人材の確保を図っていくかということだと思いますし、その取組みは群馬県の産業・社会の発展につながるものと考えております。

このため、群馬労働局といたしましては、各企業の皆様の、働き手が減少する時代における人材確保のための魅力ある職場作りに向けた検討や実行に、最大限の支援を差し上げる所存であります。

貴協会の皆様には、従来にも増して、あたたかい御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、貴協会及び会員企業の皆様の益々の御発展と、ご家族、従業員の方を含めた皆様にとりまして、実り多き年となりますことを心から祈念し、年頭の御挨拶とさせていただきます。





## 年頭にあたって

日本銀行前橋支店長 岡山和裕

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は日本銀行前橋支店の業務に対し格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国経済全体をみますと、昨年海外経済の動向を中心に下振れリスクが大きくなった年でありました。具体的には、保護主義的な動きの帰趨とその影響、中国を始めとする新興国・資源国経済の動向、IT関連財のグローバルな調整の進捗状況、英国のEU離脱問題の展開やその影響、地政学的リスク、こうしたもとの国際金融市場の動向などが挙げられます。こうした海外経済を巡る下振れリスクは高まりつつあるとみられ、わが国の企業や家計のマインドに与える影響も注視していく必要があります。

もっとも、海外の持ち直し時期が後ずれし、外需の回復が遅れると見込まれる一方で、国内需要については、その波及が限定的にとどまり、底堅く推移すると見込まれております。

こうした中、群馬県経済については、2017年10月に「回復している」という判断に引き上げた後、この判断を維持しつつも、昨年4月から「生産に弱さがみられるものの」という文言を付け加えました。これは、海外経済の減速が、群馬県経済の生産面にも影響を及ぼし始めたためであります。もっとも、群馬県経済が回復しているという基調判断は変えていません。企業部門でも家計部門でも、所得から支

出への前向きな循環メカニズムがしっかりと作用しております。

日本全体の金融情勢をみますと、金融循環の拡張的な動きが継続していますが、全体としてみると、1980年代後半のバブル期のような過熱感は窺われておりません。また、わが国の金融システムは全体として安定性を維持しております。

この点、群馬県の各金融機関は、地方創生や地域活性化に向けた取り組みを深めていくこと、中小企業の成長や事業再生を支援する力を強めていくことを重要課題に掲げております。そのもとの、産官学との連携による新たな資金需要の創造、創業支援、事業承継をサポートする取り組みを積極的に推進しております。日本銀行前橋支店としましても、こうした各種の取り組みを積極的にサポートしていきたいと考えています。

こうしたことを踏まえますと、今年の群馬県経済は、海外経済動向がどうなるか、設備投資や個人消費の内需が堅調さを維持するか、そこに緩和的な金融環境がどのように作用するかが鍵だとみております。

今年が群馬県経済の一層の飛躍の年になることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 本年もよろしくお願ひ申し上げます。

役職員を代表してご挨拶申し上げます。

会  
長



やぎ のりひろ  
**八木 議廣**

八木工業株式会社 代表取締役社長



まちだ ひさし  
**町田 久**

株式会社澁川製作所  
代表取締役社長  
【北毛地区】



あまの よういち  
**天野 洋一**

GNホールディングス株式会社  
取締役会長  
【前橋地区】



ふじたみのる  
**藤田 実**

藤田エンジニアリング株式会社  
代表取締役社長  
【西毛地区】

副  
会  
長



ふせ こういち  
**布施 光一**

北辰機材株式会社  
代表取締役会長  
【伊勢崎地区】



まつなが としひろ  
**松永 敏弘**

パナソニック株式会社  
群馬地区代表  
【東毛地区】



ながせ ゆういち  
**長瀬 裕一**

株式会社ミツバ  
代表取締役社長  
【桐生地区】



まつい よしはる  
**松井 義治**

一般社団法人群馬県経営者協会  
副会長  
【事務局担当】

専  
務  
理  
事



ひぐち としゆき  
**樋口 俊之**

一般社団法人群馬県経営者協会  
専務理事

常  
務  
理  
事



いがらし りょうじ  
**五十嵐 亮二**

一般社団法人群馬県経営者協会  
常務理事

# 事業活動報告

●平成31年度監事会 平成31年4月26日 萬年屋

●群馬県労働委員会使用者委員連絡会議

令和元年5月9日 ホテル ラシーネ新前橋

●教育委員会 委員総会(フォアマン研修会事前打合せ会)

令和元年5月30日 群馬県中小企業会館

●令和元年度第1回理事会

令和元年6月6日 ホテルメトロポリタン高崎

●令和元年度定時総会 令和元年6月6日 ホテルメトロポリタン高崎



教育委員会 第44期フォアマン研修会

●第41回群経協トップ・セミナー

令和元年6月6日 ホテルメトロポリタン高崎



令和元年度定時総会



第41回群経協トップ・セミナー

●懇親・交流会 令和元年6月6日 ホテルメトロポリタン高崎

●公労使三者トップ懇談会 令和元年6月19日 ホテルメトロポリタン高崎

●労務委員会 委員総会 令和元年7月18日 前橋商工会議所会館

●労務委員会 委員勉強会 令和元年7月18日 前橋商工会議所会館

●労務委員会 委員懇談会 令和元年7月18日 前橋商工会議所会館

●地域別最低賃金労使会議 令和元年8月6日 群馬県勤労福祉センター

●最賃労使懇談会 令和元年8月6日 きわみや

●環境・CSR委員会 尾瀬ボランティア

令和元年8月30日～31日 尾瀬ぷらり館、他

●東毛地区懇話会 令和元年9月10日 美喜仁館 太田

●伊勢崎地区懇話会

令和元年9月12日 伊勢崎プリオパレス

●桐生地区懇話会 令和元年9月19日 美喜仁 本店



環境・CSR委員会 尾瀬ボランティア



●西毛地区懇話会

令和元年10月1日 ホテルグランビュー高崎

●全群経協懇親ゴルフコンペ

令和元年10月5日 赤城ゴルフ倶楽部

●北毛地区懇話会 令和元年10月8日 プレヴェール渋川

●前橋地区懇話会

令和元年10月10日 ホテル ラシーネ新前橋



全群経協懇親ゴルフコンペ



労務委員会 先進企業視察

●労務委員会 先進企業視察

令和元年10月15日 桐生工業(株)

●労務委員会 先進企業視察懇談会

令和元年10月15日 美喜仁館 元宿

●特定最低賃金労使会議

令和元年10月24日 群馬県勤労福祉センター

●労務委員会 労務管理セミナー

令和元年11月15日 ホテル ラシーネ新前橋

●環境・CSR委員会 行政懇談会

令和元年11月19日 ホテル ラシーネ新前橋

●環境・CSR委員会 行政懇談会 懇親会

令和元年11月19日 ホテル ラシーネ新前橋

●正副会長会議

令和元年11月26日 ホテル ラシーネ新前橋

●令和元年度第2回理事会

令和元年11月26日 ホテル ラシーネ新前橋



労務委員会 労務管理セミナー



第42回群経協トップ・セミナー

●令和元年度評議員会

令和元年11月26日 ホテル ラシーネ新前橋

●第42回群経協トップ・セミナー

令和元年11月26日 ホテル ラシーネ新前橋

●懇親・交流会

令和元年11月26日 ホテル ラシーネ新前橋

# 会員の動向 (敬称略)

## 新入会

### 桐生工業株式会社【桐生地区】

入会日：令和元年6月24日  
代表者：為 谷 利 明 (代表取締役社長)  
業 種：スバル車をベースとした特装事業、他  
所在地：〒376-0011 桐生市相生町2-704  
電 話：0277-53-1111

### 株式会社板垣土建【西毛地区】

入会日：令和元年6月27日  
代表者：根 本 康 弘 (代表取締役)  
業 種：土木建設業  
所在地：〒370-0046 高崎市江木町476  
電 話：027-326-8511  
紹介者：廣瀬雅美  
(ヒロパックス株式会社 代表取締役)

### パッケージ池畠株式会社【前橋地区】

入会日：令和元年7月8日  
代表者：池 畠 美 穂 (代表取締役)  
業 種：印刷紙器製造  
所在地：〒379-2134 前橋力丸町273-2  
電 話：027-265-3225  
紹介者：鈴木宏子  
(常任評議員／共和産業株式会社 代表取締役社長)

### 株式会社荻野製作所【西毛地区】

入会日：令和元年8月29日  
代表者：荻 野 修 (代表取締役)  
業 種：輸送器具部品製造 (金属切削)  
所在地：〒370-3504 北群馬郡榛東村広馬場418  
電 話：0279-54-1011  
紹介者：八木謙廣  
(会長／八木工業株式会社 代表取締役社長)

### 株式会社ファイブイズホーム【西毛地区】

入会日：令和元年9月3日  
代表者：細 井 保 雄 (代表取締役)  
業 種：不動産販売事業、建築請負事業  
所在地：〒361-0056 行田市持田3-2-17  
電 話：048-553-2272  
紹介者：五十嵐亮二  
(一般社団法人群馬県経営者協会 常務理事)

### 株式会社ビル・メン【桐生地区】

入会日：令和元年11月13日  
代表者：高 橋 弘 史 (代表取締役)  
業 種：ビルメンテナンス業  
所在地：〒376-0034 桐生市東4-9-6  
電 話：0277-76-1381  
紹介者：丸山正実  
(医療法人山育会 事務センター長)

### 岩内鉄骨株式会社【伊勢崎地区】

入会日：令和元年12月9日  
代表者：岩 内 乙 子 (代表取締役)  
業 種：鉄骨加工業  
所在地：〒372-0022 伊勢崎市日乃出町502-3  
電 話：0270-24-6211  
紹介者：大竹良明  
(理事／冬木工業株式会社 代表取締役社長)

### 中西工業株式会社【伊勢崎地区】

入会日：令和元年12月20日  
代表者：中 西 保 (代表取締役)  
業 種：設備工事業  
所在地：〒372-0823 伊勢崎市今井町732-1  
電 話：0270-25-5900  
紹介者：布施光一  
(副会長／北辰機材株式会社 代表取締役会長)

—以下、令和元年度会員名簿発行以降の変更について記載—

## 会員の變更

明星電気株式会社 令和元年6月9日付  
前 任：高田 成人 (代表取締役社長)  
後 任：池山 正隆 (代表取締役社長)

サンワファブテック株式会社 令和元年11月11日付  
前 任：福田 達明 (代表取締役)  
後 任：久保田 顕 (代表取締役)

株式会社グランビュー ホテルグランビュー高崎 令和元年11月12日付  
前 任：森田 稔 (総支配人)  
後 任：牧本 祐介 (監査役)

## 会員の役職名変更

株式会社ALFA 令和元年7月1日付  
角内 益治  
前役職：代表取締役  
新役職：代表取締役会長

石坂電器株式会社 令和元年10月1日付  
石坂 一男  
前役職：代表取締役  
新役職：代表取締役会長

## 事務局からのお願い

会員名簿に変更のある場合は、できるだけお早めに、下記担当者までご連絡ください。

担当 コンノカズマサ  
金野和正

E-mail konno@gunkeikyo.net  
TEL 027-234-2770  
FAX 027-234-2771

# 人事・労務の課題は、 群経協にご相談ください

## ■群経協は人事・労務問題のエキスパート

人事・労務に関わる諸法令の新設・改訂等が目まぐるしく行われている昨今、「どう対応したらいいのだろうか?」「他社の状況はどうか?」といったような疑問を抱くことがしばしばあるでしょう。また、自社の経営状態によっては、大胆な人事・労務施策をとらなければならないときもあるでしょう。そんなときは、群経協を思い出してください。

人の問題は微妙です。拙速は許されないケースも少なくありません。まずは、人事・労務問題のエキスパートである群経協にご相談いただき、しっかりとした対応を目指してください。私共が直接ご相談を受けることだけでなく、関連各所をご紹介するなど、状況に合った対応をさせていただきます。

## ■教育訓練の講師も派遣します

教育訓練は、群経協の事業の柱の一つです。TWI・MTPなどの階層別訓練のみならず、内容・日数・時間数・会場等、皆様のニーズに応じて、カスタマイズした研修も、多数行っております。

「こんな研修をやりたいんだけど……」と思ったら、群経協にご相談ください。

※講師派遣は有料です。

## まずは群経協に相談してみよう!

お問い合わせ・ご相談は――

一般社団法人 群馬県経営者協会

〒371-0026 前橋市大手町3-3-1 群馬県中小企業会館2階

TEL 027-234-2770 FAX 027-234-2771

事業主の皆様へ



# 人と企業の かけはし



産業雇用安定センターによる企業間の人材マッチング支援

**まずはご一報ください、担当者が訪問して相談に応じます。**



## キャリア人材バンク

生涯現役社会の実現に向けて、  
高齢者の就業を支援します。  
自らの能力・経験を生かし  
66歳以降も働くことを希望する方。

高齢者の能力・経験の活用を  
希望する事業者。

## 人材採用

を求めている事業者の方へ

人材募集している企業に対して、  
最適と思われる人材情報を提供し、  
人材のマッチング支援を行っています。

## 各種セミナー

をぜひ活用下さい。(有料)

企業間の円滑な労働移動の実現や  
人材の育成・従業員の活性化等に役立つ  
よう、各種セミナーを実施しています。

## 雇用調整

を求めている事業者の方へ

### 移籍・退職

- ・事業の縮小等により希望退職を募集する。
- ・事業所閉鎖などにより人員整理をする。
- ・生産拠点の縮小統合により離職者が発生する。

以上のような場合に、退職予定者の再就職支援を  
在職中から実施します。

### 在籍出向

- ・人材育成のために他社を経験させたい。
- ・生産量の減少が見込まれ、人員の余剰感がある。
- ・他社の人材を受け入れたい。

以上のような場合に、出向相手社を斡旋します。

## 職業訓練・講習等

退職予定者の方を支援します。

再就職プランの作成支援やキャリア  
アップのための自己啓発支援を行います。

- 相談及びあっせんは無料です。
- お預かりした個人情報は当センターの個人情報管理基準に基づいて厳重に管理いたします。
- センターの利用時間は9:00~17:00です。
- 土日、祝日は休業です。
- 不明な点はご遠慮なく電話等でお問い合わせ下さい。



公益財団法人 無料職業紹介事業許可番号13-ム-030002

### 産業雇用安定センター 群馬事務所

〒371-0844 前橋市古市町1-50-1(新前橋駅東口 吉野屋ビル3F)

TEL 027-255-2586 FAX 027-280-3402

ホームページURL <http://www.sangyokoyo.or.jp>



※建物の中央分譲層がありますので、上層部社側から  
左折で入りビル1階の壁に当センターの看板があるところへ駐車して下さい。

